



大学生の1年留学と就職活動

トフルゼミナールの先輩に聞こう

毎年恒例のイベントが今年も立川校にて開催されました。トフルゼミナールで留学を実現した先輩方が、留学前の学習方法から、留学中の経験、そして帰国後の就職活動に関して、留学をどういかしたか、などなど、これから留学や就職活動をされる皆さんに、情報提供やノウハウをお教えます！

参加できなかった学生も、これを読んで早期の情報入手と留学の心構えやモチベーションアップで万全のスタートを切れる様にしましょう！

	<p>S.T. さん 中央大学経済学部 Long Island University, NY, USA</p>		<p>K.K. さん 青山学院大学国際政治経済学部 University of Mississippi, MS, USA</p>
---	---	---	--

■英語学習は留学が決まっても絶対に続けた方がいい！



僕は大学1年生の時から留学を志望してトフルゼミナールに通学していました。初回のTOEFLはここでは言えないくらい悪い点で（笑）

大学生の平均にして初回にとる本試験のスコアよりも大幅に低いスコアで、ある意味そんなスコアが取れたことが逆にすごいと思った記憶があるくらい悪かったです。でもそこから頑張って、TOEFL iBTで60点台までは持っていったんです。でも、そこから80点まであげるのが辛かった。やってもやっても、スコアが上がらなかったため、本当にトフルゼミナールと大学を行ったりきたりしてずっと勉強し続けました。スコアが取れた時には既に交換留学の選抜も終了していて翌年の選抜にトライしました。でも、GPA（大学の成績）がネックで選抜は通らなかったんです。頑張って勉強してきただけに本当にショックで、しばらく落ち込みました。でも今までずっとトフルゼミナールで勉強してきたので、留学は絶対したかったし、トフルゼミナールの提携大学を使って認定留学で1年間留学をすることに決めました。スコアはちゃんと出ていたので、直ぐに合格をもらえて、嬉しかったです。でも自分は留学が決まった安堵感もあって、決まってから英語の勉強を多少怠っていた部分があったので、渡航して直ぐに、「勉強ちゃんと続けておけばよかった〜!!!」って正直焦りました。なので、皆さんにアドバイスしたいことは、留学直前まで絶対に英語の勉強はしっかり取り組んだ方がいい！ということです。（S.T.）

■現地での生活は本当に自分次第でいくらでも変わる！

現地で友達ができるか？という質問についてよく聞かれますが、日本で友達を作るのと同じだと思います。自分自身でできるだけ積極的に色々ごけば自然とできるものですよ。僕はルームメイトと仲良くなって、そこから友達の輪が広がりました。サッカーや筋トレとかスポーツを通して仲良くなった友人もいます。冬休みや春休みの期間は寮が閉まってしまう大学だったので、そこで自分でプランを立てて、ブラジルからヨーロッパまで色々な国をバックパック1つで旅行したりもしました。そこから旅行が趣味になりましたね。あとは、自分が現地でうまくいかないときに、ブラウン大学の学生が書いているブログをよく読んで勇気をもらっていました。こんなトップ大学でも頑張る日本人の学生がいて、僕と同じような体験や思いをしているけど頑張ってるんだ！というのが伝わってきて、現地で頑張る意欲に繋がりと、励まされました。月～木ま

トフルゼミナール留学センター

では午前中に授業を受けた後は、図書館でひたすら勉強！金曜日は友人達と週末を楽しんで、土曜日夜から日曜日はまた翌週の準備にとりかかるとい生活スタイルでしたね。現地ではカップラーメンばかり食べ過ぎて、一時期すごく太りました（笑）それもあって、そこから身体を動かしたり、筋トレしたりして、そこでもまた友人ができたりして。僕はルームメイトがノルウェー人だったので、ノルウェーの友達が沢山できました。ノルウェー人の女の子はとてつもなく可愛かったです（笑）（S.T.）



■トラブル続きでもめげずに自分の意思を伝える強さを！



僕は本当に渡航してからも、帰国する時もトラブル続きでしたね。友人と空港で待ち時間に話をしていたら飛行機が行ってしまったり、ピザを忘れて。。。でも拙い英語でとにかく話して事なきを得ました。本当に何も言わないとそのまま誰も助けてくれないんで、とにかくアピールするしかないです。僕の行っていた場所は南部のど田舎だったので、みんな本当に親切でした。アフリカンアメリカンと白人の人の割合は 50%ぐらいでしたね。でも田舎なので治安はものすごく良かったです。1年間だったので、車はもちろん持っていませんでしたから、車を持っている友人を沢山作って、色々なところに連れて行ってもらいましたね（笑）。それでも最初は自分の発音が悪かったり、表現が何か違っていただけでしょうね。会話していても理由なく笑われたりすることは多かったです。分かってもらえない時は、言い直したり、紙に書いたり、ジェスチャーを駆使したりして、何とか伝えたいという努力をしてきました。ルームメイトはブラジル人で、結構陽気な良い子だったんですけど、やっぱり文化の差ですよ。自分が勉強したい時も、パーティーして騒いでいたり、うるさいなって思うことはよくありました。だから、「今日は俺は勉強したいから、静かにしてもらえないか」って率直にちゃんと伝えるようにしたんです。意外とあっけなく「OK～」ってちゃんとこっちの状況を察してくれて、言わないとそのままでしたが、素直にちゃんと言えば分かってくれるんだなって思いました。だから、いわずにストレスを溜めるより、自分の考えをもっとちゃんと言わないといけないんだなって強く感じました。（K.K.）

■留学して変わったこと！

（カウンセラー）：S.T.君はトフルゼミナールに通学してた時は、本当に静かで、「できれば話したくない！」っていうオーラを出していたよね笑。



（K.K.）：友達全然いなかったもんね（笑）よく留学大丈夫だったよね。

（S.T.）：いや、ここでは友達作るんじゃなくて、トフルゼミナールきたら勉強するモードに切り替えてたんですよ。でも確かに、こんな風に色々話すキャラではなかったかも・・・（笑）



（カウンセラー）：いやいや、こんなに自分の意見をしっかりと論理だてて言えなかったよー。すごい成長したんだね。

K.K.君は行く前からしっかりしたけど、行く前や行ってからも、ちゃんと企業リサーチして、準備してたんだね。

（K.K.）：僕が行くちょっと前に、トフルゼミナールで開催された留学・就職座談会に参加して同じ大学の先輩がゲストスピーカーで就職のことについて本当にわかりやすく教えてくれて、行ってからもその先の就職でどんな動きをしないといけないか事前に分かっていたんで、気を抜くことなく動けましたね。



■就職活動で【留学しました】ではなくて【なぜ留学したのか】が重要！

就職活動に関しては、僕はアメリカにいた間から少しずつ企業リサーチしたり、一時帰国した時には日本で情報収集したりもしました。留学を終えて本帰国してから1-2ヶ月で内定をもらったので、今は卒業を控えて、ゆっくり自分の時間を楽しんでいます。就職活動では、何度も面接があるので色々な事を即座に答えていかないとイケません。留学していました！ということだけではありきたりすぎて興味を持ってもらえないので、そこで得た能力や留学の目的をしっかりと自分で見つめなおしてアピールの材料にしましたね。逆に留学しましたと言えば、「じゃあ、今から全部英語で面接するから！」なんて言われるケースもありますから。どんなに答えに困っても、とにかくどしどし構えて、笑顔で対応する！これが重要だと思います。アルバイトやサークルを頑張ってたというのは、単にそれだけでは全くアピールにならないと思います。基本的には大学は学ぶ場ですから、じゃあアルバイトとサークル以外は頑張ってたのか？って思われますよね。ゼミを頑張りました！というのも同じです。これはアカデミックではありますが、じゃあゼミが始まる前までの授業は頑張ってたのか？って思われますよね。(K.K.)



僕は経済学部ですが、留学中も経済だけを極めるというよりは、興味のある授業を結構とっていました。留学中の単位は30単位まで日本の卒業単位に認定されると僕の大学では決まっていたので、30単位以上の単位は興味のある授業で埋めました。日本では取れないような変わった授業もあったので結構おもしろかったです。帰国後、今まさに就職活動真っ最中ですが、僕は大学の「卒業を遅らせる制度」を利用して、卒業単位は取りきった状態で、正式な卒業を延期することにしました。経済を極めている学生はそれを就職活動でアピールすると思いますが、僕は留学をしてきたり、その理由だったり僕なりのまた違った強みがあると思うので、それを全面にだして今頑張っています！(S.T.)